

単施設研究用

研究課題名：上行大動脈に tear のある急性 A 型大動脈解離に対する全弓部置換術の有効性の検討

1. 研究の対象

2004年1月1日から2020年12月31日までに、当院で急性 A 型大動脈解離に対して手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

急性 A 型大動脈解離は、致死率が高く迅速な対応が求められる疾患です。救命には緊急手術が必要で、解離した大動脈を人工血管で置換する手術が行われます。その際に、血管にできた裂け目である tear を切除することが重要です。なぜなら、tear を残すことで様々な合併症を引き起こすことが知られているからです。そのため、上行大動脈に tear がある場合は、上行大動脈を人工血管で置換する上行大動脈人工血管置換術 (ASR) が、弓部大動脈に tear がある場合は、全弓部人工血管置換術 (TAR) が行われます。近年手術技術の発達から TAR は ASR に対して、短期成績についても長期成績についても劣らないことがあることが多数報告されてきています。しかしながら、上行大動脈に tear がある患者に対する TAR の有効性については十分に検討されていません。本研究の目的は、上行大動脈に tear を有する急性 A 型大動脈解離に対する TAR の有効性について検討し、さらなる治療成績の向上を目指すことです。

・研究期間 研究実施許可日 ~ 2024年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者 ID(情報管理に使用)、年齢、性別、身長、体重、飲酒歴、喫煙歴、これまでの既往歴、診察所見、血液検査結果（血小板数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、クレアチニン）、CT 検査結果（エントリーの位置、大動脈径、血管の閉塞虚血の有無、血栓の有無）、エコー検査結果（EF、心タンポナーデ、大動脈弁閉鎖不全症の有無と程度、大動脈弁輪径、局所壁在運動の評価、大動脈基部の評価、そのほかの弁膜症の評価）、手術開始時間、当院搬入時間、症状発症時間、麻酔開始時間、手術室搬入時間、手術内容、治療歴（治療内容、治療効果）、生存情報、周術期合併症、遠隔期合併症、合併症発症日、集中治療室滞在期間、入院期間、手術に参加した外科医の経験年数、経験執刀数。

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人
の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出く
ださい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

研究責任者：佐賀大学医学部附属病院 胸部・心臓血管外科 医員 高橋巴久

住所：〒849-8501

佐賀市鍋島5丁目1番1号

Tel：0952-31-6511 Fax：0952-34-2061

【この研究の情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別でき
ないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を
講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは当院の研究実施許可日より2024年12月31日までの間、研究対象となる
患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページで掲
載しているものです。

臨床研究センターHP <http://chiken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、
研究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHPでは、佐賀大学医学部
附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。